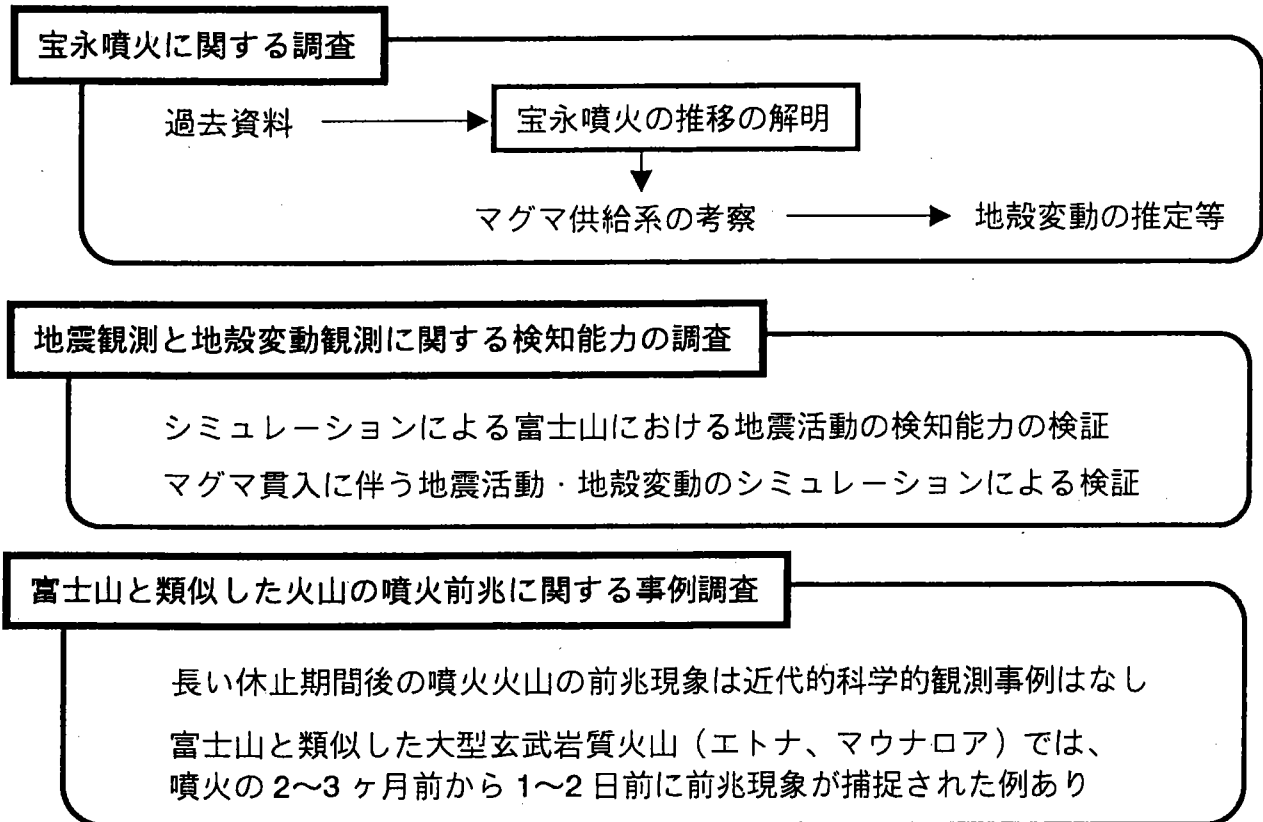


火山噴火予知連絡会富士山ワーキンググループの検討結果について

火山噴火予知連絡会は、平成12年秋から13年春にかけて低周波地震の多発した富士山について過去の噴火資料の整理や観測についての調査を行うため、富士山ワーキンググループ（座長：藤井敏嗣委員）を設置し、検討を続けてきました。その概要は次のとおりです。



これらの成果は、富士山ハザードマップ検討委員会において、ハザードマップ作成や防災対策の検討に活用されています。

成果の詳細は、火山噴火予知連絡会会報に掲載される予定です（一部はすでに掲載済み）。